

## 平成20年度第2回川崎市事業評価検討委員会に係る審議結果を踏まえた 今後の取り組みについて

平成20年12月17日に川崎市事業評価検討委員会 奥水肇会長から市長あて提出された平成20年第2回事業評価検討委員会の審議結果について、各事業の今後の取り組みを報告いたします。

### 事後評価 まちづくり交付金末長宗田地区

#### 【委員会の審議結果】

評価内容は、妥当と判断

#### 【委員からの意見】

##### 1 成果指標について

アウトプット（単純な整備量等）的な成果指標の設定が多く見られることから、成果の説明に際しては、アウトカム（整備により市民にもたらされた成果）を意識した説明を補完的に加え、事業を実施した結果、どのような効果が得られたのかを説明するための工夫が必要である。

##### 2 今後のまちづくり方策について

計画期間内の目標は達成したものの、今後も継続していく事業については、完成年度を含めた今後の事業の計画を、市民に示していく必要がある。

また、まちづくり交付金は、事業区域内に多くの事業が取り組まれており、それぞれの事業の成果が、区域内で相乗効果を生むとともに、区域外への波及効果も期待されている性格のものであることから、完成後のモニタリングを行い、その結果を、今後のまちづくりの方策に反映していくことが必要である。

##### 3 市民意見の募集について

よりよいまちづくりを行うためには、多くの市民から意見をもらうことが重要である。今後は市民からの意見を取り入れるための積極的な努力、工夫が必要である。

#### 取り組み

まちづくり交付金事業の事後評価は、制度上、交付最終年度内に実施することとなっていることから、年度末に完成予定の事業については、平成20年11月時点での評価となっております。このため、全ての対象事業が完成した後に改めて、成果指標の達成状況等を測定するフォローアップを行い、結果を公表します。その中で、委員の意見に対し、以下のとおり取り組んでいきます。

##### 1 成果指標について

アウトカムを意識した説明を補完的にを行い、どのような効果が得られたのかを説明します。

## 2 今後のまちづくり方策について

### (1) 継続事業の完成予定年度について

- ・野川柿生線（久本工区）、丸子中山茅ヶ崎線（蟻山坂工区）  
平成26年度完成予定（道路整備プログラムに基づき設定）
- ・市営住宅耐震改修  
平成27年度完成予定（川崎市耐震改修促進計画に基づき設定）

### (2) 完成後のモニタリング

フォローアップの結果を検証し、その結果を踏まえて今後のまちづくり方策を定めていきます。

## 3 市民意見の募集について

フォローアップで追加のアンケート調査などを実施し、市民の意見を踏まえ、今後のまちづくり方策を定めていきます。

## 事前評価 緊急時給水拠点確保等事業（配水池）

### 【委員会の審議結果】

「新規着手」とする市の対応方針について、妥当と判断する。

### 【委員からの意見】

市民にとって、安全な水が安定的に供給されることが大前提である。したがって今回の事前評価の対象となっている配水池について個別に説明するのではなく、水道事業全体の計画を関連付け、水源から各家庭に至るまでの安全な給水の確保について、市民に分かりやすく説明していくことが必要である。

### 取り組み

水道局では、今回の事前評価の対象となっている配水池の更新のほかに、浄水場や管路の更新など、水道施設全体を対象とした施設整備を計画的に実施しています。また、地震被害による断水などを想定した応急給水体制の整備も行い、平常時及び災害時における安心・安全・安定給水の確保に向けた取組を進めています。

水道事業が実施している各種の取組については、ホームページや広報紙などをはじめ、水道フェア、あるいは防災訓練の機会を利用して、今後も市民に分かりやすく説明していきます。